

さくら新聞

～笑顔 de 共育で～

平成 28 年 6 月 1 日発行

石神井町さくら保育園

〒177-0041

練馬区石神井町 7-25-45

TEL 3997-0070

FAX 3997-0972

月の主題

梅雨期を元気に!

今月の保育のねらい

健康に配慮し梅雨期を快適にすごす



紫陽花が似合う
梅雨(ばいう・つゆ)

新緑の季節に降る緑雨が少なく先月は真夏のような暑さも記録されるほど25℃以上の日が多くあり、園庭には早々に日除けのタープを張りました。

一方では水無月を待ちきれないとはかりに、あちらこちらで色とりどりの紫陽花の花が開き、色づき始めてきました。

また、まもなく訪れる「梅雨」ですが「梅の実が熟す頃に降る雨」という意味で、「梅雨(ばいう)」と呼ばれていた中国からの外来語で、日本に伝わってきた後、江戸時代に「梅雨(つゆ)」と呼ぶようになり現在に至り、両方の呼び名が残っているということなのです。



園庭の梅の実も少しずつ大きくなってきましたが、今年は実りが少なめで梅ジュースが作れるかどうか心配です。

『日課の安定』

入園、進級から二ヶ月が経過しました。各クラスが、子どもたちの安定した生活を整えていくために、細やかな話し合いを繰り返して、気になる点は速やかに見直し、生活や遊びの環境を整えてきたことで、どのクラスも安定した日課で過ごしています。

また、新たな乳児園庭も十分に生かされ、一歳児クラスの年齢に合った活用ができてきました。今月も室内あそびと戸外あそびのバランスをとりながら、『どんな工夫ができるか』『どのようなことをかけたらよいか』『どこで手をかけると子どもたちの自主性が育つ支援につながるか』等々を考えて保育をしていきたいと思えます。

離乳食



食事の基本です。子どもの発達と食事を照らし合わせて形状などを考えます。

乳児期(1〜3才)



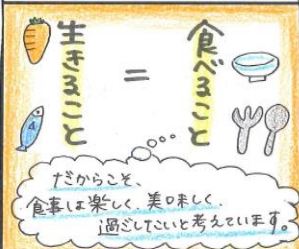
食の楽しさを知らせていくように関わります。食器も汁物以外ワンプレートにして食べやすくしています。

幼児期(4〜5才)



一緒に食べることの楽しさを知ります。食べたいご飯に何が入っているのか興味を沸かし、どうしていいかを考えます。

食事って……



『食育』というのは、食に関するすべてのことだと思いますが、2005年に食育基本法が成立して以降、食育が見直され、幼児・学童期の人間形成や健康な食生活と食習慣の確立に役立てようとする活動に発展してきたように感じます。

5月の園内研修では、一昨年から取り組んでいる『食育』をテーマに、講師の話の聞き、その後グループ討議を行い、食について学び合いました。講師の話の中で、離乳食を学ぶことで、0歳児から年長までの食事のつまずきやアドバイスに役立つということや、口腔発達や手指の発達を勉強することの大事さを教えていただきました。

文部科学省は、6月を食育月間、毎月19日を食育の日と定めています。



6月 行事予定

日	曜日	内容
1	水	情報伝達訓練
2	木	全園児健康診断
6	月	運動あそび(幼児)
8	水	身体計測(乳児)
9	木	身体計測(幼児) さくらアートくらぶ(5歳児)
14	火	おはなし会(幼児)
16	木	全園児歯科検診
17	金	避難訓練
20	月	運動あそび(幼児)
24	金	さくらアートくらぶ(4歳児)

- 1・15・22日⇒さくらんぼくらぶ
 - 15日⇒ふれあいランチ
 - 1・22日⇒家庭的保育者受託児ふれあいランチ
- ※毎週水曜日 16:00~17:00
三原台中学校ボランティア部来園



初めて、レインコートを着て遊んだ日の2歳児クラス! 「みてみてみて」「なになに」と子どもたちが集まって、タイヤの上のま〜るい水滴を食い入るように見つめていました

